

令和4年6月30日

太田市立小・中・義務教育学校
太田市立太田高等学校
保護者 様

太田市教育委員会
教育長 恩田 由之

市内小学校における感染性胃腸炎の集団発生について

初夏の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、市内小学校における感染性胃腸炎の集団発生が起きました。保健所及び県の専門機関による有症者等を対象とした検査の結果、ノロウイルスが検出されました。また、提供された給食、給食室内及び調理員の検査の結果、食中毒を疑う細菌等は検出されませんでした。これらの結果から、集団発生の原因は、ノロウイルスによるものであることが判明しました。

そこで、医師会、保健所及び県の専門機関の指導助言をもとに、該当小学校をはじめ、市内すべての学校において、ノロウイルス等の感染予防に向け、職員研修や、感染防止対策に基づいた衛生管理及び児童生徒への衛生指導を行って参ります。

つきましては、学校の感染防止対策にご理解とご協力をいただくとともに、ご家庭におきましても下記のことにご留意くださいますようお願いいたします。

記

1 学校の感染防止対策について

- 手洗いの徹底を児童生徒に指導していきます。食事前の手洗いやトイレ後の手洗いについて、石けんを使ってしっかり洗い流すようにします。
- 給食の運搬・配膳時の手洗いのタイミングや回数、手袋の着用、片付けなど、感染防止対策を強化します。
- おう吐者が発生した際は、情報を教職員が共有し、迅速・確実に処理し消毒を行います。
- いつでもノロウイルス等の感染症による可能性を疑い、慎重に対応するとともに、複数のおう吐者が発生した場合は、感染症集団発生の可能性を想定し迅速に対応していきます。
- 学校内の感染症集団発生や食中毒などが疑われる場合は、速やかに医師会、保健所及び県の専門機関と連携を図り、迅速に対応していきます。

2 ご家庭でご留意いただきたいこと（ノロウイルスの感染予防について）

- ノロウイルスは、感染力が非常に強く、感染拡大を起こしやすい感染症です。
- 主症状は吐き気、おう吐、下痢、腹痛で、子供から高齢者まで全年齢で発症します。症状があれば、学校や仕事を休み、早めに医療機関を受診し、治療を受けましょう。また、学校に連絡をお願いします。
- 潜伏期間は12～48時間です。感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。
- 通常、症状は1～2日続いた後に治癒しますが、時に脱水やおう吐物を喉につまらせることによる窒息など、乳幼児や高齢者では重症となることもあります。
- 汚染された手、食品、水を通して口から感染します。肉・魚介類は、十分に火を通しましょう（85℃以上で90秒以上）。調理後の食品の衛生的な取扱いも重要です。
- 調理器具の消毒には、熱湯や塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）が有効です。
- おう吐物を処理する時は、手袋やマスクをし、うすめた塩素系漂白剤で新聞紙とタオルを湿らせ、新聞紙で拭き取り、その後タオルで10分以上覆ってから拭き取りましょう。また、徹底した手洗い（石けんで二度洗い）とうがいをしましょう。